

# simc News Letter

Sendai International Music Competition

2023年3月20日号

## 仙台国際音楽コンクールニュースレター

### 第8回仙台国際音楽コンクール優勝記念リサイタル

第8回仙台国際音楽コンクール両部門優勝者のリサイタルが5・6月に開催されます！  
今回はコンクール優勝から1年弱を経たお二人にメールでのインタビューをお願いしました。  
チケットは現在好評販売中ですので、コンクール公式サイトよりご確認ください！！

#### ピアノ部門優勝 ルウオ・ジャチン

ー演奏の合間やオフの日に、リフレッシュするために心がけていることを教えてください。

練習以外のことをするのが一番のリフレッシュ方法です。時には、ピアノの練習をし続けることが私にとってベストではないこともあります。たまには外出して、アニメや映画を見たり、おいしいものを食べたりしています。多少の無理をしてでも音楽を完全に忘れるようにすることもあります。このような日々から、インスピレーションを得ることができています。

ーコンクール期間中の日本での思い出はありますか？  
5月のリサイタルで行ってみたい場所がありますか？

コンクールで仙台に滞在している間、どの場所に行っても感動していました。市内を散策するなど、コンクール期間中もリラックスして仙台の雰囲気を楽しむことができました。また、京都を訪れたときには、周辺の観光地も見に行きましたが、特に宇治が印象に残っています。

日本に滞在した中でとりわけ思い出深いのは、やはり日本食です。いろいろな街で美味しいものをたくさん食べたので、リサイタルの際にも美味しいものを発見し、観光も楽しみたいです。富士山も見たいです。(登れたらいいと思います) また、東京近郊の都市も有名なので、巡って写真を撮りたいと思っています。景色がとても美しいですね。日本の音楽も好きなので、時間があれば好きなアーティストのライブにも行ってみたいです。

ー今後、どのようなことに挑戦していきたいですか。

ピアノ演奏については、より良い音楽的言語を見つけるために常に努力をしています。例えば、音作り、フレージング、全体の構成、勢いなどです。更に、それらをいかに自然に実現させるかが重要であると同時に「自分の言葉」も大切です。この「バランス」が難しいところだと思うので、そういった努力を続けていくことが私の挑戦です。



ーリサイタルの選曲について教えてください。また、リサイタルへの意気込みをお願いします。

リサイタルの前半は内容的に重い楽曲を、後半は「サロン」的な音楽を選びました。実際に目を閉じて、様々なイメージを膨らませながら聴いてもらいたいです。個人的な意見ですが、それぞれの作品にはそれぞれの個性や色があり、その色合いは聴く人によってそれぞれ異なったイメージになると考えています。私の演奏した曲が、一人ひとりのお客様に特別な感情をもたらすことができたと願っています。

ー演奏を楽しみにしている日本の皆さんにメッセージをお願いします。

リサイタルでお会いできることをとても楽しみにしています！そして私の音楽が皆様の夏に彩りを添えることができたいと思っています！

### 第8回仙台国際音楽コンクール公式ライヴCD発売中！

#### 中野 りな ヴァイオリン部門優勝

FOCD9875

〔収録曲〕

モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲 イ長調 K219

バルトーク：ヴァイオリン協奏曲 第2番 Sz112

〔指揮〕広上 淳一

〔管弦楽〕仙台フィルハーモニー管弦楽団



#### ルウオ・ジャチン ピアノ部門優勝

FOCD9876

〔収録曲〕

モーツァルト：ピアノ協奏曲 ハ長調 K503

プロコフィエフ：ピアノ協奏曲 第2番 ト短調 op.16

〔指揮〕高関 健

〔管弦楽〕仙台フィルハーモニー管弦楽団

定価：2,640円(税込) (2022年12月7日発売)

取り扱い：全国のCDショップほか

販売元：株式会社フォンテック

制作：公益財団法人仙台市市民文化事業団



■お問い合わせ／公益財団法人 仙台市市民文化事業団 仙台国際音楽コンクール事務局  
〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 Tel:022-727-1872 Fax:022-727-1873 Email:info@simc.jp URL:https://simc.jp

## ヴァイオリン部門優勝 中野 りな

ー最近の演奏活動について教えてください。

仙台国際音楽コンクール後、演奏の機会をいただくことが増え、またその内容も新しいものが多くとても嬉しく思っています。オーケストラの定期演奏会の出演や、国内の素晴らしい指揮者の先生方だけでなく、海外の指揮者の方々と共演、フルリサイタル、レコーディングなどです。

ー演奏の合間やオフの日に、リフレッシュするために心がけていることを教えてください。

バレエ、美味しいものを食べる、寝ること、などです。バレエは、3歳から始めたのですが、今も時間ができた時に通っています。バレエをすると体も心もとてもリフレッシュされるだけでなく、体の軸やバランスが整うように思います。美味しいものを食べることも大好きで、どこかに行く時は事前にその周辺の有名なお店を調べることが多いです。

ーこれからはどんなことに挑戦していきたいですか？

まずは、作曲家、作品について、音楽にまつわる歴史など、音楽の知識をもっと増やしていきたいです。ただ表面的な事実を知るだけでなく、当時作曲家が具体的にどのようなことを感じていたのか、など、深いところまで考え、たくさん勉強していきたいです。その過程で、オーストリア、ドイツ、フランスなど、作曲家が実際に生活していた、本場への留学もしたいと思っています。技術的なことでいうと、表現したいと思っていることが十分伝わるような音のバリエーションを増やしていきたいです。

また、将来、世界中の音楽家の方々と共演することが夢なので、語学の勉強にも力を入れたいと思っています。

そして、演奏会の機会も増えてきていて、健康管理も大事だと感じていますので音楽家に合った筋トレを学びたいです。

ー仙台国際音楽コンクール期間中、仙台での思い出の場所がありますか？また6月のリサイタルで来仙した際に行ってみた場所などはありますか？

コンクール期間中は、観光をすることはできませんでしたが、美味しいお店がたくさんあったので、とても楽しく過ごすことができました。また、思い出の場所は、リハーサル、本番、審査発表など10回近くは通った日立システムズホール仙台だと思います。



またその場所で演奏できることがとても楽しみです。

行ってみたい場所は、ホールの周りの公園です。コンクールの他の参加者の方々が散歩しているのをSNSなどで見て、緑がとても綺麗だったので、ぜひ6月に何う際は行ってみたいです。

ーリサイタルの聴きどころ、特に聴いて欲しい曲などを教えてください。

今回のリサイタルでは、コンクール時に取り組んだ作曲家の作品を中心に、そして、新たなステップとなるように、プログラムを組んでみましたので、コンクールの時より少し成長した演奏、音楽をお届けできるように、頑張りたいと思っています。ピアノの小井土さんとのコンビネーションや、二人それぞれの音楽が本番で合わさった時の化学反応のようなものにも注目していただけたら嬉しいです。

ー演奏を楽しみにされている方々へメッセージをお願いします。

今回は私にとって初めての本格的なリサイタルです。緊張の気持ちもありますが、素敵なホールで、お客様に演奏を聴いていただけることは私にとってとても幸せなことです。これから楽しみでワクワクしています。皆さまが演奏曲を「素敵な作品」だと思っていただけるように一生懸命準備したいと思っています。

現在リサイタルチケットは好評販売中です。

詳細については仙台国際音楽コンクール公式サイトをご確認ください。

ピアノ部門優勝 ルウオ・ジャチン  
【東京】2023年5月24日(水)  
【仙台】2023年5月28日(日)

ヴァイオリン部門優勝 中野 りな  
【東京】2023年6月15日(木)  
【仙台】2023年6月18日(日)



公式サイトQRコード

【東京公演】チケット：一般 3,500円、学生 1,500円、セット券 6,000円※

【仙台公演】チケット：一般 3,000円、シルバー 2,700円、学生 1,000円、セット券 4,500円※

※セット券は「ルウオ・ジャチン ピアノリサイタル」・「中野 りな ヴァイオリンリサイタル」のセット